平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場会社名　ケイヒン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　9312　URL　http://www.keihin.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 大津　育敬
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長　(氏名) 漆畑　光一　TEL 03-3456-7825

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	20,348	1.7	688	65.5	503	123.4	334	―
23年3月期第2四半期	20,008	11.8	416	△1.7	225	14.2	△92	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　150百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△385百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	5.11	―
23年3月期第2四半期	△1.41	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	42,710	12,327	28.9
23年3月期	42,944	12,242	28.5

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　12,327百万円　23年3月期　12,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	1.00	1.00
24年3月期	―	―			
24年3月期(予想)			―	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	0.9	950	7.1	550	2.0	350	―	5.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	65,364,457 株	23年3月期	65,364,457 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	56,790 株	23年3月期	56,790 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	65,307,667 株	23年3月期2Q	65,311,825 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】P.4「1.(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
２．サマリー情報（その他）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
（４）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
（５）セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成２３年４月１日から平成２３年９月３０日まで）のわが国経済は、期後半には生産や輸出が回復する等、一時持ち直しの動きがみられましたが、東日本大震災の影響等により全体的には厳しい状況となりました。

物流業界におきましては、輸入貨物は増加したものの、生産の減少等に伴い、輸出貨物および国内貨物の荷動きは減少しました。

このような環境の中、当社グループにおいては、輸出貨物の取扱いは減少したものの、積極的な営業活動の推進による新規貨物の獲得、震災に伴う緊急貨物の取扱い等により、輸入貨物や国内貨物の取扱いが順調に推移いたしました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は２０３億４千８百万円（前年同期比３億４千万円の増収、１．７％増）となり、営業利益は売上の増加等により６億８千８百万円（前年同期比２億７千２百万円の増益、６５．５％増）、経常利益は５億３百万円（前年同期比２億７千８百万円の増益、１２３．４％増）となりました。また、前年同期に特別損失として計上した投資有価証券評価損が大幅に減少したこともあり、四半期純利益は３億３千４百万円（前年同期比４億２千６百万円の増益）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

セグメント別売上高

セグメント	前第２四半期連結累計期間（百万円）	当第２四半期連結累計期間（百万円）	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	12,504	12,894	389	3.1
国際物流事業	8,047	7,921	△126	△1.6
セグメント間内部売上高	△543	△466	76	－
合　計	20,008	20,348	340	1.7

国内物流事業

国内物流事業におきましては、倉庫業は、新規貨物の獲得や震災に伴う緊急貨物の取扱い等により、売上高は２８億８千２百万円（前年同期比１．４％増）となりました。

また、流通加工業は、通信販売商品等の取扱いが増加し、売上高は２７億１千万円（前年同期比６．６％増）となり、陸上運送業は、通信販売商品等の配送取扱件数が増加したほか、一般貨物輸送における新規貨物取扱いもあり、売上高は７０億円（前年同期比２．５％増）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は１２８億９千４百万円（前年同期比３億８千９百万円の増収、３．１％増）、営業利益は９億８千９百万円（前年同期比２億１千２百万円の増益、２７．４％増）となりました。

国際物流事業

国際物流事業におきましては、国際運送取扱業は、輸入貨物の取扱いは増加したものの、震災に伴う生産減の影響等により複合一貫輸送・海運貨物とも輸出貨物の取扱いが減少し、また、輸

出車両の海上輸送の取扱いも減少したことから、売上高は６２億４千５百万円（前年同期比３．２％減）となりました。

一方、航空運送取扱業は、欧州・アジア向け輸出貨物の取扱い増や震災に伴う緊急の輸入貨物の取扱い等により、売上高は６億７千万円（前年同期比１．３％増）となりました。また、港湾作業は、船内・沿岸作業の貨物取扱いが順調に推移し、売上高は１０億５百万円（前年同期比７．３％増）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は７９億２千１百万円（前年同期比１億２千６百万円の減収、１．６％減）となりましたが、営業利益は、コストの削減等を推進したことにより、３億５千２百万円（前年同期比５千８百万円の増益、１９．７％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び営業未収金が増加しましたが、減価償却に伴う有形固定資産の減少や株式相場低下による時価下落により投資有価証券が減少したこと等により、前連結会計年度末比２億３千４百万円減の４２７億１千万円となりました。

負債合計は、営業未払金の増加等がありましたが、有利子負債の減少等により、前連結会計年度末比３億１千９百万円減の３０３億８千２百万円となりました。

また、純資産合計は、その他の包括利益累計額が減少しましたが、利益剰余金の増加により、前連結会計年度末比８千５百万円増の１２３億２千７百万円となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが９億５千万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが６億６千４百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが４億５千７百万円の支出となり、これらに現金及び現金同等物に係る換算差額（９百万円の増加）を加え、全体では１億６千２百万円の減少となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、１４億６千５百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益４億４千９百万円、減価償却費による資金留保８億３千６百万円等により、９億５千万円の収入となりました。

前年同四半期（７億９千７百万円の収入）との比較では、１億５千３百万円の収入の増加となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出６億２千１百万円等により、６億６千４百万円の支出となりました。

前年同四半期（５億３千６百万円の支出）との比較では、１億２千８百万円の支出の増加となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ･フローは、借入金の純減等により、４億５千７百万円の支出となりました。

前年同四半期（４千３百万円の収入）との比較では、５億円の支出の増加となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第２四半期累計期間の業績につきましては、平成２３年１１月４日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、当初予想を上回る結果で推移いたしました。

しかしながら、今後の景気動向につきましては、円高や海外景気の減速懸念等もあり、予断を許さない状況にありますので、通期の業績予想は当初予想を据え置いております。

なお、景気動向や事業環境の変動等により、連結業績予想に修正の必要が生じた場合には適時に開示いたします。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,627	1,465
受取手形及び営業未収金	4,807	5,174
貯蔵品	6	9
繰延税金資産	106	46
その他	764	841
貸倒引当金	△15	△16
流動資産合計	7,298	7,520
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	41,738	42,099
減価償却累計額	△24,040	△24,648
建物及び構築物（純額）	17,698	17,450
機械装置及び運搬具	2,249	2,274
減価償却累計額	△1,768	△1,788
機械装置及び運搬具（純額）	481	485
工具、器具及び備品	3,111	3,183
減価償却累計額	△2,765	△2,843
工具、器具及び備品（純額）	346	340
土地	10,884	10,884
リース資産	362	379
減価償却累計額	△120	△152
リース資産（純額）	242	226
建設仮勘定	－	9
有形固定資産合計	29,652	29,397
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	407	399
無形固定資産合計	1,384	1,376
投資その他の資産		
投資有価証券	3,803	3,569
繰延税金資産	228	231
その他	542	586
投資その他の資産合計	4,574	4,387
固定資産合計	35,612	35,161
繰延資産		
社債発行費	34	27
繰延資産合計	34	27
資産合計	42,944	42,710

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
営業未払金	3,324	3,499
短期借入金	8,860	9,422
リース債務	64	70
未払法人税等	97	74
繰延税金負債	3	3
その他	1,228	1,152
流動負債合計	13,579	14,222
固定負債		
社債	3,000	3,000
長期借入金	10,441	9,543
長期未払金	111	97
リース債務	196	175
繰延税金負債	11	7
退職給付引当金	2,104	2,058
役員退職慰労引当金	868	891
その他	389	386
固定負債合計	17,122	16,160
負債合計	30,702	30,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	2,721	2,989
自己株式	△11	△11
株主資本合計	12,501	12,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	152	△38
為替換算調整勘定	△412	△404
その他の包括利益累計額合計	△259	△442
純資産合計	12,242	12,327
負債純資産合計	42,944	42,710

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	20,008	20,348
売上原価	18,770	18,837
売上総利益	1,238	1,511
一般管理費	822	823
営業利益	416	688
営業外収益		
受取利息及び配当金	52	49
その他	36	22
営業外収益合計	88	71
営業外費用		
支払利息	231	211
その他	47	44
営業外費用合計	279	256
経常利益	225	503
特別利益		
固定資産売却益	－	0
過年度固定資産税還付額	30	－
その他	4	－
特別利益合計	34	0
特別損失		
投資有価証券評価損	199	30
事故負担金	－	15
固定資産処分損	－	8
代引業務整理損	119	－
訴訟和解金	23	－
特別損失合計	342	54
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△82	449
法人税、住民税及び事業税	60	50
法人税等調整額	△50	65
法人税等合計	9	115
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△92	334
少数株主利益	－	－
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△92	334

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△92	334
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△257	△191
為替換算調整勘定	△36	7
その他の包括利益合計	△293	△183
四半期包括利益	△385	150
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△385	150
少数株主に係る四半期包括利益	―	―

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△82	449
減価償却費	855	836
投資有価証券評価損益（△は益）	199	30
固定資産売却損益（△は益）	△2	△0
固定資産処分損益（△は益）	－	8
関係会社清算益	△2	－
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△3	1
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△28	△46
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	4	23
受取利息及び受取配当金	△52	△49
支払利息	231	211
売上債権の増減額（△は増加）	△362	△366
仕入債務の増減額（△は減少）	341	175
その他	99	△93
小計	1,197	1,182
利息及び配当金の受取額	50	47
利息の支払額	△226	△207
法人税等の支払額	△226	△76
法人税等の還付額	1	5
営業活動によるキャッシュ・フロー	797	950
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	－	0
固定資産の取得による支出	△516	△621
固定資産の売却による収入	2	0
貸付けによる支出	△38	△45
貸付金の回収による収入	1	2
投融資による支出	△5	△5
投融資の回収による収入	21	5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△536	△664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,099	827
リース債務の返済による支出	△27	△33
割賦債務の返済による支出	△0	△22
長期借入れによる収入	1,500	1,520
長期借入金の返済による支出	△2,462	△2,682
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△64	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー	43	△457
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	9
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	280	△162
現金及び現金同等物の期首残高	1,329	1,627
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,610	1,465

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間(自　平成２２年４月１日　至　平成２２年９月３０日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,061	7,946	20,008	―	20,008
セグメント間の内部売上高又は振替高	442	100	543	△543	―
計	12,504	8,047	20,552	△543	20,008
セグメント利益	776	294	1,071	△655	416

(注)１　セグメント利益の調整額△655百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△655百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成２３年４月１日　至　平成２３年９月３０日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,507	7,841	20,348	―	20,348
セグメント間の内部売上高又は振替高	386	80	466	△466	―
計	12,894	7,921	20,815	△466	20,348
セグメント利益	989	352	1,342	△653	688

(注)１　セグメント利益の調整額△653百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△654百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。